



令和4年7月号 Vol.56
情報メディア教育センター

初夏。実家の周りではこの時期、スモモと桃の収穫風景が見られるので毎年思い出し食べたくなります。そして桃でもう一つ思い出すものが、上海在住時によく飲んだこちら。

“冰摇桃桃烏龍茶（アイスシェイク桃烏龍茶）”です。



中国のスターバックスではお茶メニューも充実していて、プルプルした桃の果実も入っているこのドリンクは、食感もほんのりな甘さも清涼感があり、暑い夏にぴったり。初夏に思い出す風景や食べ物、皆さんにとってはどんなものがありますか？

インタビューwith the student

EMCの閉館曲を作った人♪

EMCの閉館時には、「蛍の光」の原曲にもなった「オールド・ラング・サイン」が流れていましたが、この5月から新曲が加わりました。曲名は「Crazy About You」。なんと5年生の永田君が全て作ってくれたのです。驚きの完成度、まさかこれを高校生が一人で作ったの？ 不思議と耳に残る1曲です。今回は、この曲を制作したアーティスト「永田」君にお話を伺いました！

曲を作ることになった経緯は？

コロナ休校中に父に借りたパソコンにソフトを入れ、音楽を作り始めた。EMCの藤崎さんから「ここの曲書いてみてよ」と言って頂き、「やらせてください」と。実はフルで曲を作ったこともないのに会話のキャッチボールで言っちゃったんです(笑)。

作曲の方法は？

パソコンで無料ソフトを使用しています。調べると曲作る人は、一日10分でも良いから画面を開いて触ってと書いてあり、それを読みじゃったせいで毎日やるように(笑)。経験値ゼロの状態がこの2年で、趣味と化した感じです。手当たり次第に調べ、曲もいろいろ聞くようになった。楽器もなかったので曲の聞き方を変え、ドラムやベースがこうなってる等、意識して聞くようになり、同じように打ち込んでいくように。無料版のソフトでは音源も多くないのですが、その限られた中で作ってやろう！みたいな気持ちが途中から芽生えちゃったのもありました。

バンド活動は？

バンドはグループ名が“GRAND CREATION[®]”5年生が6人です。6人の創造の掛け算という6乗という意味です。コロナ禍にみんなで作ろうと始まった。好きなジャンルもいろいろ、各々の活動もあるが、文化祭でも演じる予定です。

文化祭に向けて。皆さんにも一言どうぞ！

文化祭のテーマ曲も制作させてもらえることになりました。曲を作るという形の参加ですが、自分の好きなことを生かせる場だと思うので、文化祭は。だから(皆さんへの一言は)「精一杯楽しんでいきたい」という言葉ですかね？ 実際にステージ立つ側になってみても、絶対面白いと思います。

今思うこと？

聞いてもらうために作るというきっかけがまずEMCであって、そこから学校全体の文化祭のテーマ曲も作って流してもらえるというので、本当に大切な貴重な機会だなと。あの時、EMCで藤崎さんに「音楽やってますよー」「あーそうなんだ」だと本当にそこで終わってたんじゃないかと思います。



ジャケットは、帰り道の空をイメージしたそうです。

Crazy About You

2年間試行錯誤の末、完成した作品。

曲のテーマは帰り道。ストレートに気分を歌詞に落とし込んだ表現や、一曲一曲聞く度に別の世界にほうりこまれるような良さを感じ、洋楽を参考に制作。ふんわりとした感じの歌は入っているがBGMではなく自然と流れてるような曲にする為、ボーカルがあまり目立たないように。最初にバイオリンを入れ、サビでリズムを変え、悲しい感じで終わらないように。完成まで10曲程作り、一つ前のDance Musicを正反対にシンプルな音で作ってみたのが、今回の曲。





新着図書ピックアップ



『マークの本』

佐藤 卓【著】

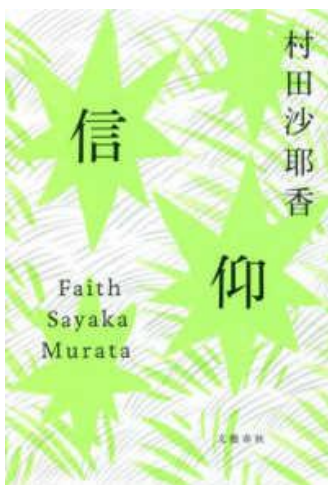
グラフィックデザイナーとして、パッケージデザインやテレビ番組の企画等で活躍の著者。ロッテ「キシリトールガム」や明治の「おいしい牛乳」のパッケージ、Eテレの子供向け番組のデザイン・企画をされています。

世界中のマークや制作についての解説ではなく、制作者自身がマークの意味やどんな風につくられたをまとめた本を幅広い方々に読んでもらいたいと作られた本だそう。依頼主の話に耳を傾けることから始まり、未来を予想してビジュアル化していく過程が興味深い。気遣いにあふれた想いがあるって生まれていると知り、世にあふれるマークをよく観察してみたくなったり少し見方が変わるかもしれません。マーク 120 点見られます、眺めるだけでも楽しい本です。(大原)



『信仰』

村田沙耶香【著】



現実こそ正義。好きな言葉は「限界倉？」の私は、カルト商法を始めようと誘われて。※シャーリィ・ジャクスン賞の中編小説部門の候補作にもなった、信じることの危うさと切実さにしびれる8つの短編集。

フィクションだからこそできる、このやりすぎ感。かの喜劇王チャップリンだって、大真面目な顔してやるからこそ見ている方はおもしろいわけです。それにしても、美容耳鼻科で施術される「鼻の穴のホワイトニング」っていったいなんなんだろう！？(津田)

『13 歳からの地政学: カイソクとの地球儀航海』

田中 孝幸【著】

ここ数年のトレンドワード「地政学」。本書は地球儀を囲んで高1と中1の兄妹が謎の老貿易商「カイソク」と学ぶ七日間の地政学講座。地理的な視点からその国が抱える問題や国同士の関わり方を考えてみると、地理や歴史、政治や経済の勉強が鮮やかにつながっていきスッキリ感が味わえる。しかし一方で世界の不条理も浮き彫りになってくる。例えば地球上のどこに国が位置するかで大国になれるか、大国から攻め入られる側になるかが勝手に運命付けられることもあるそうで、世界各地で絶えまなく紛争が起きていることとも無関係ではない。

国際情勢に関するニュースを聞くたびにどうして国々はこうも理解し合えないのかと思うが、地政学的に眺めるとその理由が見えてくる。(大塚)



新着ピックアップは毎月、司書が「これはぜひ読んで！」と思う本を選びすぐってお届けします。

上記以外にも新着図書がたくさん届いています。カウンター前の新着コーナーをご覧ください。



他人の読んでいる本が気に入るようになってきた

藤崎一臣の本、読んでいこう！ vol.51

『百年法』 山田 宗樹【著】

7月の開館予定

7月	
1 金	8:10-18:50
2 土	休館
3 日	休館
4 月	8:10-18:50
5 火	8:10-17:50
6 水	8:10-17:50
7 木	8:10-17:50
8 金	休館/館内整理
9 土	休館
10 日	休館
11 月	8:10-17:50
12 火	8:10-17:50
13 水	8:10-17:50
14 木	8:10-17:50
15 金	8:10-17:50
16 土	休館
17 日	休館
18 月	休館
19 火	8:10-17:50
20 水	8:10-16:50
21 木	8:10-16:50
22 金	8:10-16:50
23 土	休館
24 日	休館
25 月	8:10-16:50
26 火	8:10-16:50
27 水	8:10-16:50
28 木	8:10-16:50
29 金	8:10-16:50
30 土	休館
31 日	休館

おかげさまで、先月 掲載通算 50 号達成を記念して私は、ついに、いや、当然のように？人生初の上下巻ものの図書に手を伸ばしました。実は、上下巻物を読むなら絶対コレ！と決めていた本があります。

病気や事故に遭わない限り死なない HAVI という不老不死技術を手に入れた人類。老不死処置を受けたら強制的に 100 年後に死ななければならないという「百年法」が制定した日本。有能な人材を永続的に確保するという名目で定年制を廃止したものの、実態は幹部たちの保身…。それが原因で新世代の就職難を生み出し、人材の固定化によりイノベーションの土壌が失われ、日本社会そのものが動脈硬化に陥った時に百年法の適用年を迎えようとしていた。生きることへの執着、死に対する恐怖、さまざまな感情が社会を取り巻く中、はたして計画通りに百年法を施行できたのだろうか？また、不老不死を手に入れた人類の生き方は現代に比ベドのように変わったのか？ 不老不死の世界、誰でも一度は妄想するチートのな世界。そんな非現実的な世界を実際に生きてきた人が実体験に基づき書いたように感じてしまうほどのストーリー。

作家って凄いな！と改めて感じさせられる作品でもあります。と、あらすじをつらつらと書きましたが、みなさんにお詫びしなければなりません！（ノド`）。。。。

実は…『百年法』全部読み終えていません！下巻読めてません…すいません orz なので、結末どうなったかわかりません（ノド`）。。。めっちゃ長い物語ですけど、めっちゃ面白いのでぜひ読んでほしい！（途中までしか読んでいないので説得力に欠けますが…）

やはり、1ヵ月で約 1,000 ページを読むのには無理があった…（°o°）

図書日よりでこのコーナーが始まり 50 号を超えたことを記念して調子に乗って上下巻ものを手に取ったものの、このありさま(+o+)

少し言い訳をさせていただきます（ノド`）。。。梅雨入り前って、日中暖かく、夜涼しい。しかもジメジメしてなくて本当に過ごしやすいんですね。毎日手に取るものの、寝落ちの日々…間に合いませんでした orz

きっと、どんな季節であっても読了できなかったと思いますが…（笑）というわけで、今回は上巻のみでご勘弁ください。

次月号で上下巻の感想を書きたいと思います\(^o^)/ 『百年法』



第48回 別所 雅彦 先生おすすめ 『三国志』

吉川 英治【著】

今回私は吉川英治さんの「三国志」を紹介させていただきます。中学校一年生になった時、昭和五十五年ですが、幼い頃から歴史が大好きだったこともあり、この本を購入しました。西暦一八〇年頃、後漢（今の中国）が衰退し、数多くの英雄が中国統一を夢見て戦ったというのが「三国志」のあらすじです。この作品の中心人物三人の、劉備、関羽、張飛の三人の深い絆にとくに強く心惹かれます。一度読んでみてください。

※お薦め本はリレー連載です。次のバトンほどなたに渡るかな？

今やろうと思ったのに 自分に合った勉強法って？

「勉強しなさい！」ああ、もうだめ。そのことばを聞いたらやる気失せた。そんな経験、誰にもありますよね。これは心理学で「ブーメラン効果」といって、自分が考えていたのと同じことを主張されると逆の方向に意見を変えてしまう「心の働き」なんですって。そう、いつだって勉強しようと思ってるんだ。で、どうやればいいんだっけ??? そんなあなたに贈る7月の特集は「勉強」がテーマです。教科別、勉強法、やる気アップ、効率アップの4つのテーマで展示します。勉強について勉強してみよう。



講演会「三重人に訊こう」第1回、開催しました。

2022年6月15日 16:30~18:00 開催

株式会社マस्याグループ本社代表取締役社長 浜田吉司氏



マस्याグループは、あの有名なおにぎりせんべいだけでなく、伊勢地中海村（宿泊施設）、エムケイコーポレーション（介護）などさまざまな企業を持つグループ会社です。

講演では、「自立・自律・信用」といった一人前になるための理念を紹介しながら、挑戦することの大切さを教えていただきました。失敗は「できないことを知る」ための成長の糧としていかせばよい、まずは失敗をおそれず挑戦することが大切なのです。みなさんの心に響く言葉ではないかと思います。

質疑応答では満員の LC ホールで次々に手が挙がるなど、活気あふれる講演会でした。ご参加くださったみなさん、ありがとうございました。「三重人に訊こう」は2学期にも開催予定です。

図書館からのお知らせ

- 夏休みの長期貸出を実施します。
開催期間 7月14日 ~ 8月17日
返却日 9月1日
- 夏休みの開館時間にご注意ください。
7月20日 ~ 8月30日 / 8:10 ~ 16:50
- REUSE BOOK FAIR を開催します。
開催期間 7月6日 ~ 12日
雑誌のバックナンバーなどを差し上げます。
無料!! 早い者勝ち!! 場所は、EMC2階です。

最大
49日!



(編集後記)「GO!GO!リケジョ」展示中。まだまだ数が少ないといわれる理系女子。ライフプランを考える本や伝記、はたまたリケジョが主人公の小説までずらりとそろえました。ロールモデルを見つけよう! (津田)

